

WHITE & CASE

プレスリリース

報道関係者各位

ホワイト&ケース、 クレラ・シロタが東京オフィスにパートナーとして入所

2020年12月22日 … グローバルローファームのホワイト&ケース LLP（以下「ホワイト&ケース」といいます。）は本日、グローバル・デットファイナンス・プラクティス業務の拡充を図るべく、新たにクレラ・シロタをパートナーとして東京オフィスに迎え入れたことを公表しました。

ホワイト&ケースのグローバル・デットファイナンス・プラクティス代表であるエリック・ライクトは、次のようにコメントしました。「本年11月のダニエル・アバクロンビーに続き、このたびクレラを当事務所の新パートナーとして迎えたことにより、アジア太平洋地域のレバレッジドファイナンス分野で高い評価を得ている法律事務所としての地位を一層強固なものにすることができました。当事務所では、グローバル・デットファイナンス・プラクティスが市場を主導する地位を固めるなか、M&A（合併・買収）とプライベートエクイティへの投資を続けてきた結果、クライアントが求める専門性の高いファイナンスへの対応力とアジア太平洋地域を横断的に支援できる知見を両輪とする当事務所史上もっとも充実した布陣をつくることができましたと自負しています」

シロタは、企業融資の借り手・貸し手、金融機関だけでなくプライベートエクイティと投資先企業に対してレバレッジドファイナンスと買収ファイナンスを中心に幅広いファイナンスに関する助言を行う他、中国・香港・日本を中心にアジア太平洋地域のスポンサーと借り手に対しても助言を行います。シロタは当事務所に入所する前はクリフォードチャンスに所属しカウンセルを務めていました。

ホワイト&ケースのパートナーで、コーポレート、ファイナンスおよびリストラクチャリング部門のアジア太平洋地域代表を務める鄭保宏（チャン・ボールドウィン）は次のように述べました。「アジア太平洋地域のスポンサーファイナンス分野で活躍する2名をパートナーとして当事務所に相次ぎ迎えたことは、言い換えれば、私どもがこの地域におけるM&Aプラクティスとプライベートエクイティ業界を有望視していることをクライアントと市場関係

者に向けて強く表明するものです。当事務所では、クレラの東京オフィス入所により、香港以外の国々におけるプライベートエクイティ業務の体制強化とアジアの各市場で活動するスポンサーに対するグローバルなファイナンス業務に関する法務サービスの拡充を行いました」

ホワイト&ケースのグローバル経営委員会の一員であるドナルド・ベーカーは、次のようにコメントしました。「ホワイト&ケースではこれまで数年にわたり、アジア太平洋地域におけるファイナンスおよび一般企業法務担当パートナーの布陣を外部採用と内部登用により強化してきました。クレラの入所は、2019年のプライベートエクイティ業務を取り扱う4名の新パートナー登用、本年11月のダニエル・アベクロンビーの入所に続くものです。この分野における一連の布陣強化は、グローバルなプライベートエクイティ分野を戦略的注力分野と定めた当事務所のコミットメントを示すものです」

ホワイト&ケースについて

ホワイト&ケースは、世界30カ国44拠点を擁する国際的な法律事務所です。米国系法律事務所として早くから国際化を果たし、国境を越えた経済活動において求められるすべての法域に関して助言を提供しています。世界各地に所在する拠点を統合したグローバルネットワークの提供する価値と、各地域に米国法、英国法および現地法の弁護士等を擁する体制に基づく国際的法務案件への対応力について、クライアントから高い評価を得ており、複雑な国際取引案件や仲裁・訴訟の代理業務などで助言を提供しています。